

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaka/>

2010.02.07 第17号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

船坂小学校の閉校を惜しむイベントが3つ



今年3月末で閉校となる137年間にわたって船坂のシンボルであった船坂小学校の閉校イベントが、3つ行われます。

それぞれ主催する団体は異なりますが、いずれも学校の閉校を惜しみ、その歴史を振り返り、閉校後の子どもたちを励ます行事です。

1) 自治会・PTA主催の閉校行事「新しい出発に向けて」

2月13日(土) 12時から16時30分まで

午前9時30分から行われる小学校行事「アートイン船坂(舞台編)」に続いて開催されます。
船坂小学校体育館で

内容：元校長 富永邦彦先生による小学校歴史スライド

卒業生 櫻井(旧姓岡本)孝子さんのピアノと元宝塚スターによる演奏会

前スポーツクラブ21船坂会長：坂口正治さん、元自治会長：野口照之さん、

前自治会長：坂口文孝さんによる小学校思い出話など その他

2) 老人クラブ・小学校主催の閉校行事「お笑いの集い」

2月24日(水) 14時から16時まで

船坂公会堂大広間で

出演者：尾崎春治(詩吟)・中尾一江(仕舞)・野口品子、上中道子(大正琴)

坂田芳郎(小唄)・森崎義一(安来節)

関学大落研による出前寄席：「掛け取り」「看板の一」「代脈」「寿限無」

全員合唱：「故郷」「幸せなら手をたたこう」「上を向いて歩こう」「船坂小校歌」

3) 教育委員会・小学校主催の閉校式

3月25日(木) 10時30分から12時25分

船坂小学校体育館で

第1部 閉校式 市長・教育委員長・校長式辞、校歌斉唱

第2部 お別れ式 スライド上映、船坂子ども太鼓

第3部 風船飛ばしセレモニー



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280

Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319

<http://www.kozaidonya.com>

PENNY LANE



ガレージ&カフェ ペニーレーン

〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206

TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340

<http://www.penny-lane.jp/>



株式会社 キューコーポレーション

〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F

TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041

FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com

代表取締役 植松 稔晶

ちょっと気になる人

船坂はほんまにええとこや！ 9班山崎ウトさん



久しぶりの「気になる人」。今回は、船坂の中で最も北側の下田地域の山崎ウトさん（写真左から2人目）を訪ねました。娘の湊さん（右から2人目）と自治会9班班長宮里清さん（右端）にも同席いただきました。

- こんにちは。山崎さんは何歳になられたんですか？
- 86歳や。29歳の時に鳥取へ嫁に行ったんやけど、ここには昭和38年（1963年）に来た。沖縄の人が住んどると聞いて見に来たけど、すぐ気に入って土地買ったんや。300坪あったんで、しばらく養鶏場しとったことあるんやで。
- その頃は、何軒くらいあったんですか？
- 5軒やった。ここにおる宮里さんは、まだ子どもやった。
- 宮里さんは、いつ頃来られたんですか？
- 兵隊だった父が、終戦後、沖縄は米軍に占領されてしもうて帰れんかったんで、縁あって船坂へ来たようや。父が一番早く船坂に来たようや。ワシら子どもはみんな船坂で生まれ育ったんや。
- その当時、下田はどんな所だったんですか？
- この辺りは、寒天干し場やった。船坂川に沿うて寒天小屋が何軒も並んで、作った寒天をこの辺りで干してたんや。西側の道路から川を渡る時、擁壁をハシゴで降りて川に架けてある2本の丸太橋を渡ってたんや。5軒が協働で架けたので「5軒橋」と呼んでたんや。大雨が降ったら渡れんかった。
- 今の橋はいつごろ出来たのですか？
- 昭和42年に出来た。「5軒橋」と名付けてほしかったんやけど、勝手に「田尻橋」と付けられてしもうた。幅3mの橋やったけど、その後、電電公社が鉄塔建てる時に4mに広げられたんや。丁度その42年に船坂と合併（船坂自治会加入）したんや。
- 山崎さんは、お地蔵さんのお世話をしておられるそうですね。
- そうや。38年前に、祀る人が居らんようになった石の地蔵さんが山に捨てられてたのを拾いに行って、今の場所に祀るようにしてから、ずっと守ってきたんや。大昔、旅僧に背負われてきた善照寺の仏さんが「寺まで遠いなあ」と言われたので「遠矢地蔵」というんや。徳風会から年間僅かやけどお金くれてはる。船坂の皆さんもちょこちょこお参りに来たはるで。毎年8月23日の午後3時から4時まで地蔵尊祭りしてるので、あんたらも来てや。
- この下田地区はまとまりがいいそうですね。
- 今28軒住んで、毎年8月14日の夜には地域のみんなが集まって盆踊りをしている。最近集会所も作ったんや。中古のコンテナ3つ買うてきて、みんな寄って自力で内外装を仕上げたんや。25人くらい入れる集会所やで。
- 最後に船坂について一言。
- いいとこや！ものすごい幸せ！長年の念願やったバスも通って、役員さんも親切やし、船坂はほんまにええとこや。
- 今日はどうもありがとうございました。（取材：亥角さくら、黒木富美子、池田亮和）



3月のコンサート予定
3/20(土)

赤穂美紀ウテンコンサート



要：電話予約

Tel:078-903-1172

創業昭和八年

北福豊店

西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660



西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地
Tel/Fax078-903-1158

有馬街道ぶらり探訪 その1

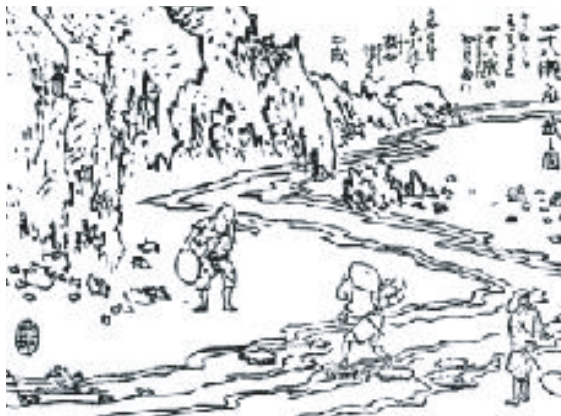
与志郎

生瀬から三田街道（現国道176号線）と分かれ、琴鳴山の南を西に太多田川沿いに有馬街道（生瀬街道とも呼ばれる）がある。昔この道は街道といっても川の瀬づたいの道で、有馬入湯者や旅人はその流れを右に左に飛び交いながら往来した。そのためこの道を「四十八ヶ瀬」とか「四十八飛び」などと称し、瀬づたいに飛び交う時に滑ったり転んだりしたので、「うたたび（転び）」「うたて（いやなことだ）」などから「おたた」と訛っていったのではないかとされている。“撰津名所図絵”（寛政10年刊）には、「小多々溪（おただがわ）」と記されている。

現在のような道筋になったのは、明治20～21年の改修で、そのとき県道となった。古典以外に昔をしのぶすべもない県道51号（宝塚・唐櫃線）をぶらりとたどってみよう。

「生瀬」を出たバスは、間もなく「一本松」停留所に着く。昭和20年代には、現バス停手前の大きく川にせり出した曲がり角に、一本の松が川に向かって斜めに立っていた。船坂の村人は、生瀬まで歩くのが常で、この松を見ると「ああ生瀬へ来たな」と、帰りは「さあこれからだ」と感じた。その一本松も県道拡幅工事により姿を消し、今はただその名をバスの停留所として残すのみである。（一本松の写真をお持ちの方は坂田芳郎までご連絡ください。）

この辺りからこの街道の難所であり、その様子を記した文献が多くある。大根土成著“滑稽有馬紀行”（文政10年刊）より抜粋転記して、このぶらり散策の始まりとしよう。



けふ思い立つ有馬路や。入湯に参らばやと存候。なまぜよりは河原の間が五十町で、四十八瀬を通ります。是が難所で御座り榊げな。なまぜの在所を過ぎて、古きくづれかかりし土橋あり、此のはしをわたらず、手前より河原へ出て、河原をゆくに左右両側はすべて屏風を立てし如き岩石なり。河原はその谷にして水は右にめぐり左に廻りて流れ出る。往来の道筋たしかならず。おりおり大水にて流れるゆへその度に道かわるなり。人のかよふ足の跡をしるべにして往来する故いたってわかりがたし。甚だの難所なり。

「サアあの水の中を飛び越え渡るのじゃ」「足袋をぬがにゃなるまい」「なにさ、わっちが先ぢんするからついて来なよ」才六、石につまづき、水の中にちやぶり。

太郎「ワワ、ぬれねずみじゃ」「エイ、こんな川を四十七も越えんと有馬へは着きませんか、困ったものじゃ」「モシ、此の川は大分深う御座り榊

飛び石、五ツ六ツ、水は速し、太郎、向ふの石ががたつくひょうしに川の中へすべりこみ、ずでんどうとこける。

才六「ぬれにぞぬれしこの姿、わっちはぬれ鼠、おめえはぬれ男、よくかなった道づれだ」云々

< 諸団体便り >

野球部が復活!!

2008年度で廃部した野球部ですが、「やっぱり野球したい!」との声が高まり、今春復活します。新部員募集中（北福敬三まで）。

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



2/4~3/1

Babies' breath
アクセサリー展

癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice

〒651-1423 西宮市山口町船坂1626

TEL 078 (904) 2603

パースデーケーキをお宅までお届けします。
(山口町内 無料配達いたします。)

Kawahara Kobo



株式会社河原工房

〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1

TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587

URL <http://www.omoiokatachini.jp>

e-mail info@omoiokatachini.jp



Kobako Vege

こばこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24

OKKO陶芸工房2F

TEL&FAX 0798-26-3618

e-mail kobako.design831@gmail.com